

大森東地区管内人口

人口	男	10,399人
	女	9,237人
	計	19,636人
世帯数 11,033世帯 (令和7年6月1日現在)		

おもしろい地域情報

いつつのわ

手をつなぐ5自治会

- 大森東自治会 (平林 敏夫 会長)
- 大森東四丁目自治会 (伊藤 音嗣 会長)
- 川端自治会 (江藤 豊 会長)
- 大森南自治会 (平林 茂 会長)
- 森ヶ崎自治会 (野口 多加志 会長)

発行：地域力推進大森東地区委員会

編集：地域情報紙「いつつのわ」編集委員会

【編集委員長】須山 芳明 (大森東四丁目自治会) 【副編集委員長】野口 弘子 (大森南自治会) / 江原 良子 (森ヶ崎自治会)

【編集委員】田中 文雄 (大森東自治会) / 野村 勝恵 (大森東自治会) / 福本 享子 (川端自治会) / 平林 典明 (川端自治会) / 魚住 みさ子 (大森南自治会) / 安藤 澄枝 (森ヶ崎自治会) / 伊藤 音嗣 (大森東四丁目自治会) 【事務局】前田 璃咲 (大森東特別出張所)

お話ボランティアの
ある一日の様子

大森南自治会 土井 千枝子

「おちゃのみきてください。こんなにちは、図書館員の手遊びで幼年お話会の始まりです。」

このお話会は乳幼児と保護者が対象です。今日は組木を使ってお話。「ぞうくんのさんぽ」、子ども達のすわっているカーペットに木のぞうを置きます。ぞうくんはお天気がいいのできげんで散歩に出かけると、次々にカバ、ワに、かめに会います。ぞうは順々に動物達を背中に乗せて散歩です。池(動物をくり抜いた後の木枠)の所でボツチャーンと落ちてしまいますが、みんなは楽しく水遊び。というお話です。話が終わると子ども達と一緒に箱の中へ動物を片付けます。パズルの様に一つ一つ考えながらはめ込んでいきます。この片付けも楽しみの一つです。

組木の様な教材、エプロンシアター、パネルシアター、大型絵本は一般には貸し出しされないので、お話会でしか見られません。

絵本、紙芝居、いろいろな形でお話を聞かせます。話のまだ分からない赤ちゃんは時に泣く事もありますが、ニコニコ笑ってくれるととてもうれしく、子どもから元気のエネルギーをもらった感じがします。

子どもの日が終わったばかりでしたので、新聞紙でカブトをみんなで作りました。

「いろいろお世話になりました。さようなら。」お話会はおしまいです。

いつつのわ水門橋が
開通しました！

令和5年9月より建設していた「いつつのわ水門橋」が完成し、令和7年3月1日(土)に「渡り初め式」を行いました。大森東地区は「いつつのわ」を合言葉に五自治会が支え合っています。「いつつのわ」という言葉と「水門」があったことを後世に残し、当地区の末永い発展を願い名付けられました。

また、ヤフーニュースにも取り上げられました！是非「いつつのわ水門橋」と検索してみてください！

いつつのわ水門橋の完成により
海辺の散策路ができました！

ゆつくり歩いて30分のコースです。羽田飛行場や遠くを飛んでいる飛行機の姿をながめながら、また春は桜と雪柳、そしてアジサイ、秋にはイチヨウの黄葉を楽しむこともできます。

2つの橋にはそれぞれテラスがあり、ベンチが設置されていますので、一休みされるのもいいのでは。

昔の水門の様子

令和7年3月1日
渡り初め式の様子

5人の自治会長が一文字ずつ「いつつのわ」の文字をかきました。

大森びと
Vol.8

トークテーマ
『海苔生産業に携わって』

川端自治会 相談役 平林 盛久さん

昭和十二年東京府荏原郡大森村(現大森中二丁目)に生まれる
私立高輪中学を経て十五歳から十年間海苔生産業に従事
昭和三十三年塗料販売店に勤務。冬は家業の海苔生産に従事。二刀流となる。
平成二十年より川端自治会長、三輪厳島神社氏子総代長、海苔のふるさと会理事、などを歴任、現在に至る。病弱の兄を助け、十五歳から浜に出る。

当時の冬の呑川は凍る日もあり、櫂で氷を割りながら、浜へ出る日もありました。極寒の日、海苔取作業は素手で行うため、指先は凍傷、あかぎれとなりましたが、その程度で音を上げる人はいませんでした。家の海苔取船の名前は穂米丸、河岸(船着き場)は当時の潮見橋(現大森東五丁目37番地)より二百メートルほど下流にあり自宅からはりヤカーを引いて河岸まで通いました。

夏の副産物

夏の大森の海岸も栄養豊かで思われ収穫がありました。

現昭和島付近の遠浅へは現避難橋付近から平泳ぎで泳ぎ、絶好の漁場で、カレイ、シヤコ、牡蛎、等々が取れ、アサリは準備した籠に入れ、それを頭に縛り、避難橋辺りまで泳ぎ着き、家で味噌汁の具となりました。

豊漁の時代

戦後、日本の経済の成長とともに海苔の生産も加速、大森の海岸だけでは供給が追い付かず横浜、磯子界隈の浅瀬を借りる事態もありました。

まず、ベカ船(海苔取母船)に竹、網、伝馬船(ベカ船と海苔取網の間を行き来する小型船)などの道具を乗せ、横浜の借地の河岸から漁場に運び設置する。帰りは磯子から横浜市電、省線電車(現在のJR東日本・京浜東北・根岸線)桜木町、横浜駅を経て帰る、翌日はその逆ルートで磯子に出勤。海産物の海苔は、海水を抜き、ゴムの袋に詰めて担ぎ屋さんのように電車で背負って帰り、大森の浜の海水で洗います。全ての海苔生産者がやっていたことではないようですが。

昭和20年代当時の様子
(大森中2丁目15番あたり。)
右手に密乗院があります。

大森東 こども作品館

中富小学校 作品

「大森東 こども作品館」第8弾は、中富小学校2年生のときの作品を掲載しています。児童のフレッシュな作品を皆様ご鑑賞ください。

やかべ りゅうのすけ さん

なかむら みはる さん

いけだ みのり さん

地域の行事

- 七月十九日(土) 大森第四小学校水遊び
- 七月二十四日(木) 二十五日(金) 盆踊り・納涼踊り 浦守稲荷神社 (大森南自治会)
- 七月二十五日(金) 二十六日(土) 納涼民謡踊り 貴船神社 (大森東自治会)
- 七月二十九日(火) 三十日(水) 盆踊り・納涼踊り 大森南四丁目公園 (森ヶ崎自治会)
- 八月二十三日(土) 納涼映画会 井天神社 (川端自治会)

今年はいよいよつかみ取り大会(大森東自治会)は中止になります。

編集後記

三月一日に待望の「いつつのわ水門橋」が完成しました。森ヶ崎からふるさとの浜辺公園までの散策路で潮風を感じながらの散歩・ウォーキングなどを楽しんではいかがでしょうか。

また、森ヶ崎緑華園ではヒマワリ・百日草・千日紅(センニチコウ)・鶏頭など夏の花々が、七月から九月にかけて咲き誇ることです。夏の花々に会いに行ってみてください。

今年も暑い夏が続きますので、健康管理に充分注意して熱中症などにならないよう、夏を過しましょう。

編集委員一同





明るい選挙推進委員の仕事



大森東4丁目自治会 田辺 美江

皆さん、明るい選挙推進委員(以下委員とする)をご存じですか。ああ、選挙の時に投票箱の前に座っている人達と、思い浮かべる人もいるかと思います。選挙の時は、何も起こらなくて当たり前で、何かおこると大変なことになります。この地域でもお年寄りが期日前投票を行い、それを忘れて再び投票区の投票所であつ票の発行を求めることが起きたり、また、2つの選挙を同じ投票所で行う場合、一つを投票して、もう一つは棄権して用紙を持って帰ろうとするなど、小さなアクシデントはいくつかあります。このようなことが起こらないように、投票箱の前にいるのです。

私が委員になった頃、まだ女性が少なく立会いに行くと、男性の先輩から『女性が立会人、ここは地元の名士がやるところだよ』と言われ、唖然としたことが忘れられません。大森東地区の委員は各自治会1名で5人です。地区によっては20人のところもあり、委員だけで選挙の立会ができますが、大田区でも一番小さい地区に入る大森東地区は、どうしても自治会の方々のお手伝いが必要なので、皆様にお手伝いをお願いしているのです。ただ、選挙の立会人や投票管理者だけでなく、委員にはいくつかの仕事があります。

各自治会から推薦されると、選挙管理委員会から委嘱状

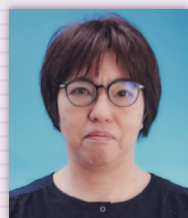
をもらい2年間の任期でこの仕事をするようになります。大田区選挙管理委員会からは、初任者研修を受け、委員の活動や選挙管理者、立会人の仕事や活動などについて学びます。委員は選挙の立ち会いだけでなく、東京都や大田区の選挙管理委員会の主催する研修会や講演会に参加して、大学の政治学の先生や新聞社の論説委員の講義を受けたり、グループに分かれての啓発活動、懇談会など、日々研鑽に務めています。

啓発活動は、5人の委員でなるべく多くの人々が集まる「大田区子どもガーデンパーティー」や自治会連合会が主催する「いつつのわふれあい祭り」などに参加して、子供達に対してクイズを作り、投票箱に入れてもらったりして、選挙のことをPRしています。また、大田区が行うOTAふれあいフェスタにも参加して、選挙管理委員会の人たちと選挙のPRに努めています。

以上が、委員の仕事で、決して投票所で投票箱の前に座っているだけではないのです。

今年は6月に東京都議会議員選挙や7月に参議院議員選挙があります。皆さん投票日には選挙に行き投票をして下さい。もし選挙の当日に都合の悪い方は、大森東特別出張所で期日前投票を行っていますので、こちらで投票をして下さいますようお願いいたします。

着任のご挨拶



大森第一中学校
校長 高橋 真弓

初めまして。4月1日付けで大森第一中学校の校長として着任しました高橋真弓です。「上級生が下級生の手本になる」という校風を大切に行事・勉強・部活動に頑張っている生徒に元気をもらいながら、そして、校内循環中に窓の外に見える運河と広い空と時々の飛行機に気持ちをリフレッシュさせながら、職務に励んでいます。

地域の皆様には、引き続き本校の教育活動へのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



大森東中学校
校長 長尾 諭

今年度大森東中学校第14代校長として着任しました長尾と申します。昨年度まで同じ区内の東調布中学校で勤務しておりました。私自身も大田区在住ですので、地域のこどもたちのために働けることに大きな喜びを感じております。

本校の生徒たちはとても人懐こく、さわやかな挨拶ができるところが自慢です。生徒たちの良さをさらに引き出すべく努力してまいります。地域の皆様方におかれましても本校の生徒たちの活動を応援していただけますようお願い申し上げます。



中富小学校
校長 森 伸一

地域の皆様、こんにちは。区内の開桜小学校から移動してまいりました森伸一と申します。私は山形県出身で、小学生の頃は、野山で日が暮れるまで遊んでいました。実家は、小さいながら農家を営んでいたもので、春には田植えをしたり、秋には稲刈りをしたり、今思えば、貴重な経験をしながら幼少期を過ごしました。

さて、今年度は「笑顔・明るい挨拶・ユーモア」を大切にして、「みんなが幸せになる学校」を目指して、教職員一丸となって教育活動を進めてまいります。地域の宝であるこどもたちの未来のため、ご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

Q1

避難訓練にて火事で煙が発生している時は、口をハンカチで押さえ、背を低くして逃げるよう教わるのですが、それはなぜでしょうか？また、口元を押さえたとしても火災で発生したCO2などは視覚等での確認が難しいため、どうしても吸ってしまうのですが大丈夫なのでしょうか？

A

ハンカチを使用するのは煙りの中に含まれる刺激性物質の吸引を低減し、呼吸が苦しくならないようにする為です。一酸化炭素などの有毒ガスは遮断できないので煙を吸わないように低い姿勢で避難してください。



地域のギモン

大森消防署 森ヶ崎出張所に 聞いてみたいことリスト



Q2

昨年末に6階建てマンションの火災によって2人が亡くなられた痛ましい事故がありました。高層階で火事が起きた場合、はしご車はどこまで対応できますか？また、はしご車で対応できない場合はどういった対応になるのでしょうか？

A

はしご車は約10階まで対応できます。はしごが届かない場合でも建物に付属の非常用エレベーターを使用したりヘリコプターを出動させ対応します。

Q5

1つの火災で、何人くらいの方が出動されるのでしょうか？

A

火災の大きさで変わりますが、少なくとも約10台は出動し、消防車1台あたり約5人の消防隊員が乗車しますので、約50人位が出動します。

Q6

訓練はどういったことをしていますか？

A

火災に備えホースを伸ばしたり、交通事故で車内に閉じ込められた人を助けたり、地震や水災など、あらゆる災害を想定した訓練を行っています。

Q3

激しく燃える火の中では、要救助者を発見し、助け出す事は大変な苦勞かと思ひます。どういった流れで消防隊の方は救助活動をされているのでしょうか？

A

早期に消化ホースを準備し、筒先をもつ隊長と2人の隊員でバディというチームを作り、火災建物内の人命救助活動を行います。



Q4

宿直の方は何人いらっしゃるのでしょうか？

A

森ヶ崎出張所には宿直(24時間勤務)消防隊員8名、救急隊員3名、通信受付勤務員1名の計12名で勤務しています。

Q7

出動以外のときはどういったことをされているのですか？

A

訓練のほかに建物の立入検査、火災の原因究明、調査事務や厳しい災害現場に耐えるための体力トレーニングなどを行っています。

Q8

消防団とはどういった違い(役割、関係など)がありますか？

A

消防団は消防署と同様の消防機関です。消防署は常勤の消防職員に対し、消防団は普段、様々な仕事に就いている人たちが、火災、風水害、震災等に消防団員となり消防活動を行う非常備の消防機関です。

